



®環境省

エコアクション21

# エコアクション21で 「わ<sup>※</sup>」を創ろう

企業価値向上ツール「エコアクション21」のすすめ Vol.2

～バリューチェーンの価値向上に取り組む、大手・中小事業者の実践例～

※エコアクション21で人と人が「輪」になり、事業者と社会が「環」になって、  
みんなで地球や将来世代に「和」を残そうという想い



環境省

# ようこそ、エコアクション21へ

環境省総合環境政策局環境経済課

世界経済フォーラムが毎年発表する「世界のリスク」では、気候変動リスク等の環境問題が経済に与える影響は極めて深刻であると指摘しています。そしてCOP21のパリ協定に象徴されますが、世界は連携して持続可能な社会経済へシフトする道を選択し、模索しつつも着実に対策を進めています。

こうした状況のなか、事業者の環境取組の意義は大きく変化しています。紙・ゴミ・電気といった古典的な環境取組の枠を越え、本業を通じて事業者・ステークホルダー及び社会の持続可能な成長にどう貢献しているのかという「内容の軸」、中長期の事業戦略とどう紐付いているのかという「時間の軸」から、環境取組の意義は語られつつあります。

こうした2軸に対し、エコアクション21は基礎的でありながら効果的な解を提供できるマネジメント・ツールです。重要な経営資源である人・物・金の「人」に着目し、効率的で効果的な環境と経営の統合的な戦略立案から組織体制の構築まで、事業者のガバナンス面から支援します。とりわけ、中堅・中小事業者にも着手し易いよう、「形式より実質」を重視して設計されています。

エコアクション21のメリットは、皆さんの創意工夫で無限の可能性を秘めています。今回登場する、9の実践例はその一つにすぎません。しかし、人が、組織が、企業がエコアクション21でつながることで、そのメリットが一層大きくなることを理解できると思います。

エコアクション21で人と人が「輪」になり、事業者と社会が「環」になって、みんなで地球や将来世代に「和」を残せるよう、私たちと共にエコアクション21で歩むことを心から期待し、歓迎します。

ようこそ、エコアクション21へ。

## TOPICS!

### エコアクション21のロゴが変わりました!

エコアクション21に取り組むことをより対外的にPRできるようになりました。  
詳しくは持続性推進機構ホームページ <http://www.ea21.jp/register/logo.html>

### エコアクション21ガイドラインが変わります!

より有効性を高め多くの事業者に使いやすいものへと変わります。  
詳しくは環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/ea21/com3.html>

# エコアクション21を活用したバリューチェーン管理のすすめ

地球環境問題がより深刻化する中で、2015年12月に調印されたCOP21のパリ協定では、すべての国が参加して2100年までに「温室効果ガス排出の実質ゼロ」を目指すこととなりました。またISO14001規格の改訂、SDGs、ESG投資\*等、大手企業は、経営面での環境関連のリスクや機会（チャンス）を考慮し、環境への取り組みを進めて事業活動の中に環境活動を組み込んでいくこと、さらには、バリューチェーン全体、サプライチェーン全体でこのような取り組みを行っていくことが求められています。

そのためには、大手企業では、取引先、原材料・部品等の調達先、子会社・グループ会社、製品・サービスの販売店・代理店等に対して、

- ・環境への取り組みや環境マネジメントシステム構築を支援する
- ・二酸化炭素等の排出量を把握、管理し、CO<sub>2</sub>ゼロにしていく
- ・環境法令順守等のコンプライアンス管理の徹底を図る

など、バリューチェーン全体の管理、さらには価値向上に取り組んでいくことが必要です。

※SDGs：持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）、経済、環境、社会の3つの側面に関する2012年6月の国連持続可能な開発会議（リオ+20）で策定が合意された国際目標。

ESG投資：環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）に配慮している企業を重視・選別して行う投資。

## バリューチェーンの中核企業、地域の企業団体・業界団体等でエコアクション21を活用するための「関係企業グリーン化プログラム（GP）」

関係企業グリーン化プログラムは、エコアクション21を活用して、バリューチェーンでの環境取り組みを推進したい大手企業、会員・組合員企業の環境対応力強化を図りたい企業団体が実施するプログラムです。

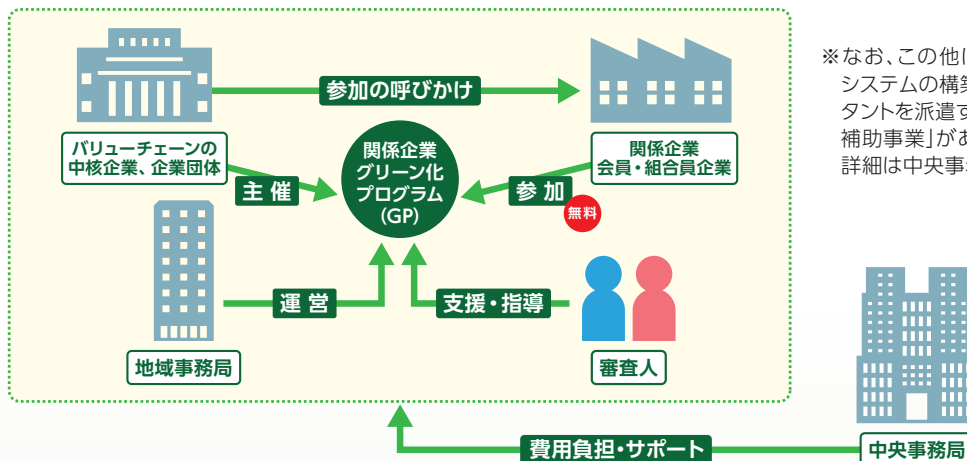
プログラムは、中核となる企業・団体の呼びかけにより、関係する事業者に対して、エコアクション21の認証・登録を目指す事業者を募り、エコアクション21地域事務局と審査人の支援のもと、より多くの事業者が短期間で効率よくエコアクション21を取得することを目的としたプログラムです。

### プログラムの概要

- ①中核となる企業、団体は、関係企業、会員・組合員企業を対象とした、エコアクション21に取り組むための勉強会（4～5回程度）を主催し、参加事業者を募集
- ②勉強会は、エコアクション21の中央事務局・地域事務局・審査人が、協働で運営、実施
- ③勉強会において、エコアクション21の構築、運用方法を一から丁寧に指導し、認証取得まで支援

### これならできる！

講師費用、資料代等の**必要経費は中央事務局が負担**  
勉強会参加企業の**参加費は無料**



※なお、この他に環境省事業として、環境経営システムの構築に取り組む事業者には、コンサルタントを派遣する「Eco-CRIP（エコ・クリップ）補助事業」があります。詳細は中央事務局にお問い合わせください。

### 関係企業グリーン化プログラムを実施することのメリット

- ・関係企業や会員・組合員企業が、まとまってエコアクション21に取り組むことから、グループ企業や会員企業の一体感が高まります。
- ・勉強会を主催する企業、団体は、環境省が商標権を保有するエコアクション21ロゴマークを使用することができ、ホームページ等で「エコアクション21推進企業（仮称）」として、その取り組みをアピールすることができます。
- ・参加事業者の取り組みによるCO<sub>2</sub>排出の削減量について、毎年度、中央事務局が集計し、報告します（2017年度実績から）。
- ・参加事業者のエコアクション21の取り組み、環境への取り組みについて、一定の指導ができ、グループや団体が統一的な取り組みを行うことができます。

# 環境経営で大転換時代を勝ち抜く

～これからの環境対策と企業経営のあり方～



一般財団法人 持続性推進機構  
理事長  
**安井 至**

富士重工業株式会社  
代表取締役社長  
**吉永 泰之**

環境省  
地球環境審議官  
**小林 正明**

公害防止や省資源、省エネルギーが重要課題であった時代から半世紀の時が経とうとしている今、人類社会は大きな転換点に立っています。COP21・パリ協定が象徴するように、環境問題はもはや持続可能な経済社会の脅威となり、その解決のために全世界が連携して、既存の枠を越えた取り組みを行おうとしています。企業の環境活動も、形だけ・イメージだけの時代は終わり、実効性のある活動が評価され、企業や製品を選ぶ「ひとつの要素」から「重要な要素」になりつつあります。

そうしたなか、環境への取り組みを中期経営ビジョンの要素として位置付けた富士重工業（株）は、自社の国内販売ネットワークのすべてにおいてエコアクション21の認証を取得し、環境企業としてのブランドを際立たせています。この国内初、唯一の事例をもつ富士重工業（株）と（一財）持続性推進機構、環境省が一堂に会し、これからの環境対策と企業経営について対話を行いました。

**小林**：今や、地球温暖化問題は、市民が肌でその脅威を感じる時代になってきたと思っています。そして、COP21が開催され、これまでは先進国と途上国で二分されていた課題解決への方策も、みんなでひとつになって取り組む時代となりました。世界各国が一つに力を合わせようとしている今、日本の全国民、すべての企業が一つにまとまり、主体的に環境問題を解決していくための枠組みを議論し、みんなで取り組んでいく、それが私ども環境省の責務と考えています。

**安井**：COP21・パリ協定は、歴史的かつ画期的なものとなりました。今世紀後半、つまり2100年までに「すべての国」が「温室効果ガス排出の実質ゼロ」を目指すというのは、その象徴と言えます。人類は今、産業革命以降の「化石燃料を使って発展する文明」から、「化石燃料を使わないで発展する時代」への大転換点に立っています。そして特筆すべきことは、そうしたゴールを全世界で合意し、発信できたことです。世界中の人々が、そちらに向かう、進む努力を

していく——短期的な必達の目標ではない、最良の道を歩んでいくための「ゴール：CO<sub>2</sub>ゼロ」という方向性を共通の認識にできたことは極めて大きな成果であると思います。

**吉永**：企業活動のあらゆる領域で環境に対応していくことが「MUST=必須」である、という時代だと認識しています。環境に配慮した企業でなければ、企業活動が許されない時代を迎えたと思います。一般的に、これまで質の高い企業という

と、質の高いプロダクツ（製品）を世に送り出す企業でした。しかし、今は違います。その製品が環境に配慮された質の高いプロセス（工程）で作られていることが重要になってきました。環境に配慮しない企業の製品は選んでいただけない、そういう明確な意識を持たれるお客様が、急速に増えていると実感しています。

当社の中期経営ビジョン「際立とう2020\*1」で掲げている——スバルブランドを磨く——では、製品のみならずスバルのすべての諸活動を対象にしています。スバル車だけでなく、スバル車を販売する販売店の活動も当然含まれています。スバルグループ全体で、質の高い環境への取り組みを実践することが、スバルブランドを際立たせると考えています。

ですから「スバルの販売店は全44社、700店舗のすべてが、エコアクション21の認証を取得しています」。それは「いくつかの販売店が取得している」だけでは個別の取り組みに過ぎないからダメで全44社、700店舗のすべてが取得して初めて、スバルグループ全体で環境に取り組んでいる姿勢をお客様に強く訴求することができ、スバルブランドを際立たせることができると考えています。すべての販売店が一つになってエコアクション21の看板を掲げよう——その思いで、みんなが一つになりエコアクション21の取得を推進しました。

**安井**：例えば「70店舗、全体の1/10が取得しています」では、実はエコアクション21のメリットの1%も活かされないと感じています。そういう意味で、吉永社長は「100%、販売店全体でなければ意味がない」と認識し、経営



者として思い切った行動をされていることに、大いに共感を抱くと共に、高い敬意を表したいと思います。

もう一つ、吉永社長が思いや理念を示しつつも、販売店自らがエコアクション21を全店で取得すると決め、積極的に取り組んでいることも素晴らしいことです。それが現場にイノベーションと躍動感を産み、エコアクション21導入後も持続的発展につながっていると思えました。

**小林**：販売店すべてにおいて、そしてその従業員ひとり一人において、みんな同じ方向を見据えて環境活動を推進できるのは、企業体の強みと言えるかもしれない。なぜなら、企業で働かれている方も家に帰れば家族の一人、市民です。企業の規模が大きければ大きいほど、グループ・関係会社の裾野が広がれば広いほど、企業での取り組みが津々浦々に伝搬していくという、そのシナジー効果はとてつもないからです。

むしろその影響力に着目し、企業から家庭への環境活動の持ち帰り、発展、そうした一人の人間の中での一体化も期待したいところです。

そうしたなか、企業としての中期経営ビジョン「際立とう2020」には、環境への取り組みが重要な要素として位置付けられています。全販売店でのエコアクション21導入・継続も、その一つと伺いました。

**吉永**：エコアクション21導入は、すべての販売店が参加する会議での決議から始まりました。1つひとつの販売店だけでは出来ないことが、エコアクション21でみんなが繋がり、当社も加わって、データ管理システムを運用することにより、いつかの経営判断の材料が見えてくるようになりました。そしてエコアクション21をツールとして利用することで生まれたのが「スバル・ゼロエミッションスキーム<sup>※2</sup>」という販売店の資源循環システムです。これにより環境対応だけでなく経済合理による経費削減ができました。

このスバルのゼロエミッションスキームは、みんなで地球環境を良くしていきたいという考えから、他メーカー様にも活用していただいています。このように結果として業界横断的に活用できるのも、エコアクション21の仕組みがあればこそだと思っています。

**小林**：私たちはエコアクション21を経営ツールの一つと位置付け、形式でなく実質本位で、様々な活動に実装していただきたいと願っています。そういう意味で、スバルはエコアクション21の特徴を非常によくご理解され、上手に経営に統合されていると感じました。大手企業でも適材適所にエコアクション21が活用できることは、他の大手・中堅企業に大きな気づきを与えるのではないのでしょうか。

また、「スバル・ゼロエミッションスキーム」が同業他社に波及していることは驚きました。同スキームの骨格をなすエコアクション21が、業界のグリーン化の橋渡しにお役にただけていることを大変うれしく感じています。

**安井**：エコアクション21に取り組むことによる8つの御利益ということについて、よく話をさせてもらっていますが、「トップが自慢できる社員とそのチームワーク」が生まれ、「環境経営」を楽しめるようになり、社員が「自分の仕事と会社」を自慢できるようになる。それがエコアクション21の目指すべき効果であり、スバルはそうした域に達しておられるようです。

**吉永**：たしかに社員の顔は生き生きと輝いていると思います。環境経営で、地球環境もスバルグループの業績も上向きになっていけるように頑張っていきたいですね。環境対応は自動車メーカーとしてますます厳しいものになっていくかもしれません。しかし、地球環境をもうこれ以上悪化させることはできません。人類のあり方として、後戻りはできないし、許されないとすら思います。だから我々も環境対応の手を抜くことはありません。みんなで知恵を出し合い、持続可能な発展を皆さんと共に歩めたらと考えています。

**小林**：COP21は国家レベルでの交渉ごとでもありますが、それを現実のものとしていく課程において、産業界との連携は不可欠です。企業の将来は、日本の、そして世界の将来につながっています。そのための課題の共有や、解決方法の検討、そして取り組みの実践など、すべきことはたくさんあると思います。ただ、一つ言えることは、産官民が一体となって、高度成長期の大気汚染を

切り抜け、澄んだ青空を取り戻した経験が日本にはあるということ。我が国には、そうした力がありますので、この課題についても、その力を発揮して、みんなで知恵を出し合い、実行していくことで、地球を澄んだ青い星に戻せるのではないかと信じています。

**安井**：エコアクション21の価値として、環境負荷の低減やコスト低減だけでなく、組織の風通しがよくなったとか、経営の質が上がったとか、同業他社や地域社会とつながったとか、無形の価値にメリットを感じる声もたくさん頂いています。

私は、エコアクション21を「大転換時代を勝ち抜く企業の集い場」だと考えています。現在、エコアクション21に集う仲間が全国に約8千存在します。しかし、持続可能な社会へ移行するには、まだ仲間が少ないとも感じています。

エコアクション21には、認証・登録制度を開始して10年を超える経験と実績があります。また、現在環境省が行っている同ガイドライン改訂を見据え、運営側としても様々な事業者支援策、普及策を検討中です。皆さんが知恵を出し合える場を提供すべく、運営側としても全力で支援して参りますので、是非とも多くの事業者様にエコアクション21を活用していただきたいと思います。

**吉永**：スバルのサプライチェーンでは、エコアクション21とISO14001を上手く組み合わせ活用しています。エコアクション21の費用や負担の少なさは大きなメリットだと思いますので、今後は、販売店だけでなく様々なプロセスにも広げていけると考えています。

**小林**：本日の対話を通じ、スバルがエコアクション21を大きな輪で活用し、着実に成果を出されていることに、政策の手応えと励みをいただきました。大手企業であっても、エコアクション21が事業価値向上ツールとして機能することは、多くの企業の気づきになると思います。

環境省は持続可能な社会の実現に向け、温室効果ガスを2030年までに2013年比26%減、2050年までの目標として80%減を掲げています。これには技術革新だけでなく社会経済システムの変革も必要かもしれません。しかし重要なのは、粘り強い日々の取り組みです。エコアクション21は日々の環境取組とその向上、経営と環境の融合を可能にするツールだと思います。是非とも多くの事業者に活用していただき、大転換時代を乗り切り、発展していただきたいと思います。

本日はありがとうございました。

※1：際立とう2020

<https://www.fhi.co.jp/ir/corporate/vision.html>

※2：スバル・ゼロエミッションスキーム

[https://www.fhi.co.jp/envi/csr/envi/sale/#h3\\_02](https://www.fhi.co.jp/envi/csr/envi/sale/#h3_02)



# エコアクション21とは？

## Q. エコアクション21は、どんなものですか？

A. エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。エコアクション21は、あらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組んでいただけるよう工夫されています。



## Q. エコアクション21にはどんな特長があるのですか？

A. エコアクション21は、

- ・中小の事業者でも容易に「環境経営」の仕組みが構築でき、運用できる
- ・具体的に環境配慮の取り組みとして何をやるのか、どのように行うかがわかりやすい
- ・環境負荷 (CO<sub>2</sub>排出量等) の把握集計が容易にでき、環境報告が簡単にできる

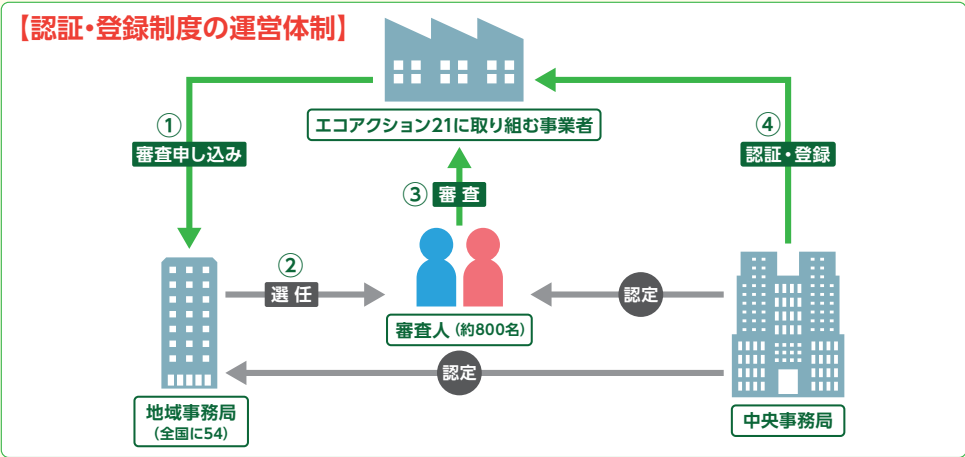
## Q. なぜ、中小の事業者でも容易に取り組めるのですか？

A. ・「環境への負荷の自己チェックの手引き」「環境への取組の自己チェックの手引き」を用い、事業者が自らの環境負荷に関する状況と、具体的な環境への取り組みの方法を簡単に把握できるようになっています。

・環境マネジメントシステムについても、把握すべき環境負荷の項目や設定する環境目標の項目について、CO<sub>2</sub>や廃棄物の削減など環境経営にあたっての要件を具体的に定めていることから、初めての事業者でも、無理なくシステムを構築し、環境への取り組みを始められるようになっています。

## Q. エコアクション21の認証を取得するためには、どうしたらいいのですか？

A. 環境省が策定したガイドラインに基づきエコアクション21に取り組む事業者を、第三者機関である中央事務局が認証・登録する制度が「エコアクション21認証・登録制度」です。事業者は、エコアクション21の取り組みを行い、最寄りの地域事務局 (パンフレット巻末を参照:全国に54) に申込をします。地域事務局から審査人 (全国に約800名) が派遣され審査を行い、その結果が判定委員会で「ガイドラインに適合」していると認められると、認証を取得することができます。



## Q. 認証を取得するための費用はどのくらいですか？

A. 事業者の規模にもよりますが、従業員30人の場合、毎年の審査費用が10万円、2年間の認証・登録料が10万円となります。

## Q. 審査を毎年、受審することは大変ではありませんか？

A. エコアクション21の審査は、単にできている、できていないを確認する審査ではなく、審査人が、事業者の環境への取り組みや環境経営システムの構築・運用状況を確認し、改善のための丁寧な指導・助言を行います。事業者の抱えている課題や問題点を一緒に解決していくことができます。

## Q. エコアクション21は、我が国の政策の中でどのように位置づけられていますか？

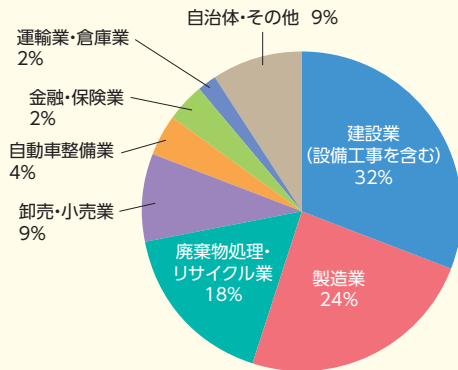
A. エコアクション21は、日本の環境政策における重要な施策のひとつとして、環境配慮促進法、第4次環境基本計画、優良産廃処理業者認定制度、環境コミュニケーション大賞等、国の法律や制度等に位置づけられています。

## Q. どんな事業者が、どのくらいエコアクション21に取り組んでいるのですか？

A. 現在、全国で約7,700事業者がエコアクション21に取り組み、認証・登録されています。製造業のほかにも、建設業、廃棄物処理業、サービス業など、様々な業種の事業者が取り組んでいます。また、全体の90%が従業員100人以下の事業者で、まさに中小事業者に適した制度です。

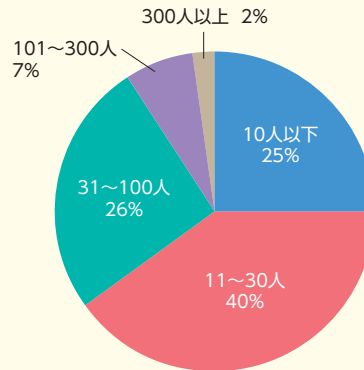
### ● 認証・登録事業者数の業種別割合

製造業だけでなく、様々な業種の事業者が取り組んでいます。



### ● 認証・登録事業者数の規模別割合

全体の90%が従業員100人以下の事業者です。



## Q. エコアクション21に取り組むことにより、どのような効果があるのですか？

A. エコアクション21に取り組むことは、以下のような効果（メリット）があります。

- ① **総合的に進められる!**：ガイドラインには『環境経営（マネジメント）システム』『環境への取り組み』『環境コミュニケーション』の三要素がひとつに統合されているため、環境への取り組みを総合的に進めることができます。
  - ② **経営面での効果が期待できる!**：環境経営システムを構築し、取り組みを継続的に改善していくことによって、経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底、社員の意識向上など、経営面での効果をあげることができます。
  - ③ **ロゴマークが使える!**：  
自社のパンフレット、カタログ、封筒、社員の名刺等に、エコアクション21のロゴマーク（® 環境省）を使うことができます。エコアクション21の取り組みを社内外に強くアピールできます。
- 
- ④ **取引条件に対応できる!**：多くの大手企業が、環境への取り組みや環境経営システムの構築を取引条件の一つとする傾向にあります。認証・登録することによりそれらに対応することができるとともに、自治体によっては、入札参加資格審査で加点を受けることができます。
  - ⑤ **低利融資制度が受けられる!**：銀行、信用金庫、信用組合など多くの金融機関で、認証・登録事業者への低利融資制度が行われており、この制度を利用することができます。  
※金融機関等によるエコアクション21関連融資については、エコアクション21中央事務局のホームページに掲載されています。
  - ⑥ **社会からの信頼を獲得できる!**：環境省のガイドラインに基づき、第三者機関の認証を受けることで、社会的な信頼を得ることができます。さらに、環境活動レポートを作成し、外部に公表することによって、取引先やお客様等からの信頼性が向上し、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を果たすことができます。

エコアクション21認証・登録制度の詳細等については、中央事務局のホームページをご覧ください。

<http://www.ea21.jp/index.html>

04

# 対談

エコアクション21が創る環境経営のいしずえ



## 環境経営で 大転換時代を勝ち抜く

～これからの環境対策と企業経営のあり方～

### エコアクション21で 環境と経営を融合

環境省

地球環境審議官 小林 正明

### グループ全体で質の高い 環境への取り組みを

富士重工業株式会社

代表取締役社長 吉永 泰之

### 企業の集い場を広げて さらに大きな輪へ

一般財団法人 持続性推進機構

理事長 安井 至

## エコアクション21で 「わ」を創ろう

企業価値向上ツール「エコアクション21」のすすめ Vol.2

～バリューチェーンの価値向上に取り組む、大手・中小事業者の実践例～

CONTENTS

## 事例紹介～環境コラボレーション

### 10 製造業に見る 環境コラボレーション

個々の環境意識を大切に  
グループ全体の環境力を  
高めていきたい

株式会社明電舎 × 有限会社東栄工業



### 12 流通業に見る 環境コラボレーション

「食」を扱う共同体として  
環境への自主的な取り組みを  
推進しています

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

日本デリカフーズ協同組合

×

プライムデリカ株式会社





## 14 金融業 に見る 環境コラボレーション

### この街のホームドクターが 地域企業の環境活動を支えています

大阪信用金庫 × 進栄化工株式会社



## 16 建設業 に見る 環境コラボレーション

### 緩やかな連携が 人材育成と環境活動をつなげています

全国建設業協同組合連合会 × 小林工業株式会社  
群馬県建設事業協同組合



## 18 産廃処理業 に見る 環境コラボレーション

### 環境経営で若い世代を育み 業界の未来をつくっていきます

全国産業廃棄物連合会 × 浜田化学株式会社  
兵庫県産業廃棄物協会 × 有限会社ダイハチ



## クローズアップ!

地域・業界で輝きみなさんにお伺いしました  
私たちエコアクション21で頑張っています!

## 20 食品

お客様や取引先様のみなさまと  
環境活動の輪を広げています

サッポロビール株式会社



## 21 観光

お客様に喜んでいただける沖縄を  
お客様と一緒に守っていく

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ



## 22 教育

教育の一番札所は  
地球環境の一番札所を目指します

国立大学法人鳴門教育大学



## 23 医療

医療に携わるものとして  
環境経営を通じて人も地球も救いたい

静岡済生会総合病院





個々の環境意識を大切に  
グループ全体の環境力を  
高めていきたい



株式会社明電舎  
資材グループ長 村嶋 久裕  
環境戦略部長 堀越 論

グループとして「環境基本理念」の下、様々な環境行動、取り組みを実践している株式会社明電舎。グループ企業はもちろん、取引先である協力会社にも環境経営を知り、積極的に取り組んでもらいたいと、エコアクション21中央事務局・地域事務局が無料で提供する「関係企業グリーン化プログラム (GP)」を導入、昨年度から運用を開始され、初年度にも関わらず、エコアクション21の認証取得企業を生み出しました。その明電舎からの誘いに応え、プログラムに参加した有限会社東栄工業。プログラムの恩恵を受け、10年の時を経て、エコアクション21の認証を取得するに至りました。板金加工を主要な事業とする同社には、明電舎もその将来を期待していると言います。



有限会社東栄工業  
代表取締役社長 森田 茂  
専務取締役 森田一茂

株式会社明電舎

企業が企業のEMS導入を支援する制度に  
環境への取り組みが推進できると考えました

グリーン調達をいかに増やしていくか、その比率をどのように上げていくかが、ひとつの課題でした。それには調達品を納入されている取引先企業、明電舎のものづくりを支えていただいている協力会社の皆様に、環境に向き合っていただく必要があると感じました。そうしたなか、企業が企業のEMS導入を支援する制度「グリーン化プログラム」の存在を知り、これを使えば環境への取り組みを推進していくことができるのではないかと考え、導入、実施することにしました。

協力会社は、規模の大きなところばかりではありません。むしろ中小規模の企業が数多く、そうした企業にISO14001は敷居が高いように思います。エコアクション21は、中小企業での導入を意識した作りで、これから取り組もうとする中小の協力会社には、費用やしぐみのシンプルさなど、まさにぴったりのEMSでした。

環境活動は環境対応ができるだけにとどまりません。エコアクション21に取り組むことによって、企業リスクを減らすことができ、それは社会貢献、CSRにつながります。生産性も上がり、利益も生まれる。ものづくりの質を向上させる要素も

ぎっしり詰まっています。単に環境のためにやるのではなく、複合的な活用、メリットがあることを伝えて、自主的な取り組みを促しているところですよ。何事もやらされ感ではダメなんじゃないでしょうか。本業に生かせるツールであることに気づいていただけた企業から、認証取得へ前向きになっていただけている印象です。

勉強会での参加企業のつながり  
不安や悩みの共有、そして緩やかな競争心が  
モチベーションにつながっているようです

集合教育である勉強会では、参加企業の間で横のつながり、コミュニケーションが生まれているようです。不安や悩みの共有、緩やかな競争心が、その後のモチベーション維持にもつながっているのではないのでしょうか。複数回の集合教育の合間に、それぞれの企業の理解度、進捗度に合わせ、効果的にEco-CRIPを組み合わされたのも、プログラム実施1年目でエコアクション21認証取得企業を生み出した要因だと思っています。

導入

エコアクション21は「社内管理プログラムの総合パッケージ」  
社内のあらゆるシーンに活用できるツールと捉えています

よく聞かれるのが「導入しても効果のほどがわからないのでは」というものです。それでもプログラムに参加し、エコアクション21を導入した企業からは、「社内管理にも効果が実感できる」との声が届いています。私どもではエコアクション21を、社内のあらゆるシーンで活用できる「社内管理プログラムのパッケージ」と捉え、取引先企業にも複合的で体系的な管理ツールの側面を訴求することで、導入へ積極的になっていただけるよう努めています。

環境に対して何かしなければいけない、ただ何をしていいのかわからない。

当社のグリーン化プログラムの取り組みが、そうした協力会社の背中を押してあげていただけたら——とてもうれしく思います。企業の皆様が考えている環境対応と、世の中がその企業に期待している環境対応には、少なからずギャップがあると思います。そのギャップを埋めるためにも、エコアクション21のようなツールは非常に有効なのではないのでしょうか。これまで漠然としていた協力会社の中に宿る「企業としての環境意識」を気づかせ、それを発現するきっかけにもなっているのではないかと考えています。

成果

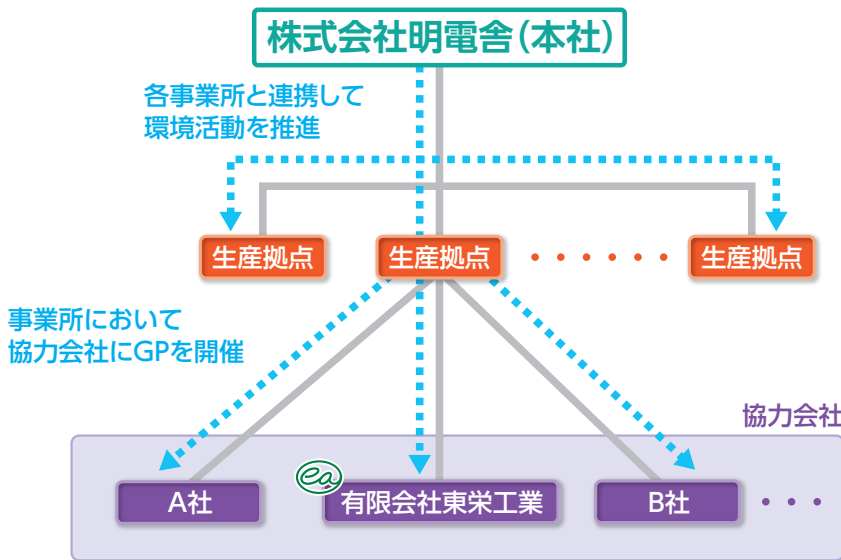
環境への取り組みに対する要求をどのようにバリューチェーンへ落とし込んでいくのか。  
グリーン化プログラムを継続してその要求に応えていきたい

エコアクション21中央事務局・地域事務局の支援によって、グリーン化プログラムを導入、展開できていることにとっても感謝しています。一企業が、自分たちだけでやるとしたら大変と言いますか、実施費用も含め厳しいのではないかと思います。こうした制度をうまく活用させていただくことで、明電舎の、まさに生産工程の一部を担う協力会社に対して環境経営への道を開き、バリューチェーン全体の強化を図っていきたくて考えています。

私どものようなグループ、バリューチェーンを統率する立場の企業では、世の

中から、環境への取り組みに対する強い要求があります。この要求を、どのようにしてバリューチェーンを構成する取引先企業に落とし込んでいくのか、バリューチェーン管理の手法も問われています。この課題を解決する、取引先企業・協力会社の環境活動を支援する上で、グリーン化プログラムは大変ありがたい制度だと思います。来年度もこの制度のメリットを最大限に活かして、エコアクション21の認証取得企業をひとつでも増やし、バリューチェーン全体での環境活動を底上げできればと考えています。

課題



## 株式会社明電舎

〒141-6029 東京都品川区大崎二丁目1番1号  
ThinkPark Tower(本社)  
【事業内容】 発・変電等エネルギーシステム、水処理システム、情報通信システム、産業システム等の開発、生産、販売、サービス

## 有限会社東栄工業

〒411-0824 静岡県三島市長伏 155 番地の 1  
【事業内容】 精密板金加工、配電盤・制御盤・監視盤等の電設盤類の設計制作  
【EA21 認証・登録番号】 0011076 (最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0011076.pdf> をご覧ください)

### 有限会社東栄工業

#### きっかけは明電舎さんからの声掛けです

直接のきっかけは、明電舎さんからの声掛けです。環境への取り組みをグループ全体として進めていくなかで「グリーン化プログラム」へのお誘いを受けたことが、エコアクション21導入につながりました。実は10年ほど前にも一度、導入を検討したのですが…そのときは、決断できませんでした。ただ、時代の流れなのか企業の環境活動に注目が集まるようになり、一企業としての責務を考えるようになってきて…お声掛けをいただいたのは、まさにそのようなときで、お客様に安心・安全をお届けできる企業でありたい、そして東栄工業をより良い企業としたいとの思いから勉強会への参加、そして認証取得を決めました。

#### 従業員の誇らしい笑顔に エコアクション21導入を決断して本当に良かったと思いました

エコアクション21という公的認証の取得が認められたことで従業員ひとり一人がプライドを持てるようになったこと、そして、従業員の前で取得を報告したときにみんなが誇らしい笑顔を見せてくれたこと—エコアクション21導入を決断して、本当に良かったと思いました。

#### 勉強会は本当にありがたかったひとりぼっちにならなかったことは大きい

勉強会は本当にありがたかったです。はじめは不安でしたが、教室を見渡せば顔見知りの仲間がいて、不安や悩みをざっばらんに話すことができました。ひとりぼっちにならなかったことは大きいです。環境に関する関連法規等は、とにかくわからない言葉だらけで、講師をいつも質問責めでした(笑)。一つひとつ疑問を解決できたのは、明電舎さんのプログラムのおかげだと思っています。法令に関する持ち帰り事項を従業員と共有することで、自然とコミュニケーションが深まり、職場の雰囲気さがさらに良くなったと感じています。集合教育のプログラムでは理解できなかったこと、つまりいたことを、講師の個別訪問により教えていただいたことも、大変助かりました。Eco-CRIPと言うそうですが、集合+個別という明電舎さんの心遣い、手厚いサポートに感謝するとともに、環境活動に対する熱い思いを感じて、認証取得まで頑張る勇気ももらいました。

#### 「自ら考える力」「問題解決していく力」を生むエコアクション21は人の心を動かせるツールなのだと思っています

エコアクション21の認証を取得してまだ日も浅いのですが、環境にとどまらない、人の心を動かせるツールなのだと思えて実感しています。エコアクション21の取り組みは、社長をはじめ全従業員が同じ方向を向いて、やるべきことを共有することが基本だと思っています。会社でのあらゆる行動をエコアクション21と絡めることで、「あれもエコだよ」「これもエコだよ」と職場の中でも自然なコミュニケーションが生まれ、言われて動くのではなく自分たちが考えて動くという常に「矢印」を自分に向

け「自ら考える力」、「問題解決していく力」がついてきたと思います。こうして従業員ひとり一人の力が成長するツールとして、エコアクション21は思いがけず素晴らしい効果をもたらしてくれました。こうした気づきもあって、当社での環境への取り組みは、とても良いスタートが切れたと思っています。

#### 会社成長への手応えを感じさせるエコアクション21 その良いところを仲間に伝えていけたらいいですね

いろんな人間が集まっているのが会社、企業じゃないですか。その一人ひとりが力をつけて、物事を「何とかする」「何とかしていく」人間が増えれば、その会社、企業は成長すると思うんです。そうしたエコアクション21の副次的な効果に、会社成長への大きな手応えを感じています。また、違う世代の人間が集まる場所でもあるので、世代を越えて同じ価値観を生み出せるエコアクション21の取り組みは、従業員が一つにまとまるツールとして力を発揮してくれていると思います。これからもエコアクション21を

絡めた企業活動を通して、従業員みんなと良い時間を過ごしていけたらと願っています。そして、環境という枠組みにとらわれることなく、それぞれの会社に見合った取り組みができるエコアクション21の良いところを、以前の私のように決断できないでいる仲間に伝えていけたらと考えています。それが、認証取得までを支援くださった明電舎さんへの恩返しだと思っています。